

# 大地震、集中豪雨を想定

## 全社一斉の防災訓練実施

ACKグループ

ACKグループは8月31日、グループ各社の全国20か所以上の拠点で、全役員参加による全社一斉防災訓練を実施した。今年

は、午前中に、最大規模の地震発生によって全拠点が被災した場合を想定した訓練を行い、午後は、中部地方東部を中心とした集中豪雨による局地的な

被害を想定し、顧客からの支援要請への対応について訓練した。

地震に対する訓練では、各拠点に現地災害対策本部Ⅱ写真Ⅱを設置し、役職員の安否確認、初動対応における役割分担の明確化、事業復旧時期の判断、従業員の帰宅可否の判断、帰宅困難者への備蓄品の配布



など、初動対応の一連の流れを確認。ACKグループ本社に災害対策本部を設置し、グループ各社の災害対策

委員会から報告される各種情報の対応・判断についても訓練した。

豪雨被害に対する訓練では、グループの強みを生かした支援活動ができるよう、各社の連携体制を定めたBCP顧客対応編に沿って、被災した地域に近い拠点が中心となり、各社の連携手順の理解、実践をテーマに実施した。

今回の訓練で洗い出された課題をさらなる改善に役立て、引き続き確実な事業継続に向けて行動するとともに、顧客からの災害支援要請に応えることで、地域の災害復旧にいち早く貢献できるように行動する。